

世 界 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24060111〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験がはじまってから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。受験番号の記入にあたっては、次の数字見本に従い、正確にでいねいに記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク解答用紙のマーク欄には、はっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムででいねいに、消し残しがないようよく消すこと。

マークする時	 良い	 悪い	 悪い
マークを消す時	 良い	 悪い	 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

以下の文章を読んで、下記 A、B に答えよ。

前近代のユーラシア史を人の移動という観点から鳥瞰すると、内陸アジア北部の遊牧民が周縁の定住地帯に大規模に進出する動きが繰り返されていることに気づく。^a匈奴の西遷とフンの出現との関連性はまだ十分に解明されていないとしても、9世紀以降のトルコ系諸集団の西進、13世紀のモンゴル帝国の拡大などは、その顕著な例といえる。彼らの移動のルートは、大きくみれば次の三つに分けることができよう。

第一は、内陸アジア北部から草原地帯を西進し、南ロシア・ヨーロッパに向かうものである。6世紀における

b の中央ヨーロッパ侵入や、キプチャク＝ハン国の成立は、このパターンの典型といえる。

第二は、内陸アジア西南部のオアシス地帯を経てイランに入り、さらにメソポタミアやアナトリア方面に向かうものである。セルジューク朝やイル＝ハン国の成立は、このパターンに属する。また、^cアフガニスタンを経てインドに向かうルートも、いわばその支線といえる。

第三は、中国方面に進出するものである。いわゆる五胡の侵入と^e北朝の成立、^f契丹（遼）・女真（金）の華北進出、モンゴル（元）の中国支配などは、このパターンに属する。なお、女真は遊牧民とはいえないが、南進のパターンからいえば、遊牧民に準じて扱ってもよいだろう。

おおむね16世紀以降になると、ユーラシアにはオスマン帝国、サファヴィー朝、^gムガル帝国、清帝国、ロシア帝国など、比較的安定した大国が並立し、もはや遊牧民の大規模な活動は見られなくなる。しかし、これらの国々も、起源においては、上述の遊牧民の移動・拡散と関わりをもっている場合が少なくない。たとえばサファヴィー朝は、アゼルバイジャン地方を本拠としたイスラーム神秘主義教団に起源するが、その軍事力の中核となったのは、**h** と呼ばれるトルコ系遊牧集団であった。

内陸アジア遊牧民の流入がユーラシア各地の社会や文化に与えた影響を適確に評価することは難しいが、今日でもはっきり認められるのは、トルコ系言語の分布の広がりである。ⁱアナトリアや内陸アジア西部では、いまやトルコ系言語が主要言語となっているし、南ロシアやカフカースにもトルコ系言語の話者が多い地域がある。

A 問い1～5に対する最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 a に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 匈奴の馬具や武器、装飾品には、西方のスキタイとの共通性は認められない。
- ロ 前漢の武帝はしばしば匈奴に遠征軍を送ったが、勝利をえられず、貢納を差し出して和解した。
- ハ 服属した南匈奴を監視するため、後漢は長城の北に単于都護府を設置した。
- ニ 匈奴の勢力が解体した後、2世紀には鮮卑が東方からモンゴル高原に勢力を伸ばした。

2 下線部 f に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 遼が後晋から割譲を受けて領有した燕雲十六州とは、現在の遼寧省一帯にあたる。
- ロ 遼は全国に州県制を施行し、州・県の長官にはすべて契丹人をあてた。
- ハ 金は猛安・謀克制を華北の漢人に対しても施行したため、地主による大土地所有が抑制された。
- ニ 金の統治下の華北で、儒・仏・道3教の調和を唱える全真教がおこった。

3 下線部 g に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 初代皇帝バーブルの回想録『バーブル＝ナーマ』は、トルコ語で書かれている。
- ロ 第3代皇帝アクバルは敬虔なイスラーム教徒で、ヒンドゥーなど他宗教を弾圧した。
- ハ 第4代皇帝ジャハーンギールは、妃のためにタージ＝マハルを築いた。
- ニ 第6代皇帝アウラングゼーブは宗教的に寛容で、ラージプート諸国との融和を進めた。

4 空欄 h に当てはまる語はどれか。

- イ イェニチェリ ロ キジルバシュ ハ マムルーク ニ スーフィー

5 下線部 i の諸地域で現在用いられている以下の諸言語のうち、トルコ系に属するものはどれか。

- イ アルメニア語 ロ ウズベク語 ハ グルジア語 ニ タジク語

B 問い1～4に対する最も適切な答えを、記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄bに当てはまる民族名は何か。
- 2 下線部cにおいて宰相ラシード＝アッディーンが編纂した、内陸アジアや中国、キリスト教世界などを包含する世界史書を何というか。
- 3 下線部dを通して北インドに進出し、13世紀初めにデリーに王朝を開いた人物は誰か。
- 4 下線部eの統治下では仏教が普及し、大規模な石窟寺院が作られた。北魏が4～5世紀に都をおいた平城（大同）の近くにある石窟を何というか。

II

次の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

第一次世界大戦は、名実ともに世界戦争であった。アメリカや日本の参戦、そして名目的だったが中国の参戦がそのことを端的に示している。そのため、主戦場ではなかったものの、アジア・太平洋地域においても、戦中から戦後にかけて変化していた情勢に対応して、同地域の戦後国際秩序を構築する必要性が生じていた。1921年から22年にかけてアメリカ合衆国の呼びかけで開かれたワシントン会議はその試みであった。この会議で締結された諸条約に基づくアジア・太平洋地域の国際秩序が、ワシントン体制と呼ばれたものであり、ヴェルサイユ体制、つまりヴェルサイユ講和条約に基づくヨーロッパの新国際秩序とともに1920年代の国際秩序の柱となったのである。

ワシントン会議を招集したアメリカ政府のねらいは、この地域における列強の勢力の抑制と再編、特に大戦中に中国での膨張傾向を強めた日本の抑制、この地域におけるソヴィエト政権やコミンテルンの影響拡大の抑制、アメリカの年来の主張である中国の門戸開放、対中国機会均等への国際的承認の取り付け、そして、中国を中心としたアジア諸国のナショナリズム勢力への接近などであった。会議に参加したのは、アメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ポルトガル、そして中国であった。会議の結果、五大国間の海軍軍備制限条約、中国の主権尊重・領土保全をうたった九カ国条約、および太平洋諸島の現状維持に関する四カ国条約などが締結され、アメリカの所期のねらいはほぼ達成された。

しかし、会議で合意されたのは、大部分列強中心の利害の調整と勢力範囲の再画定であり、ワシントン会議に大きな期待を寄せた中国国民は、パリ講和会議に次いで大きな失望を味わった。それ以後、中国の民族運動は、1920年代中頃から急速に政治的態勢を整えて発展していったが、これに対して日本は、国際協調主義の外交によってワシントン体制には順応したものの、しだいに中国の民族運動の矢面に立つ軍事行動をとらざるを得なくなっていた。国内には中国での日本の既得権益擁護と拡大のためにこの体制の課す日本の行動への制約に不満な勢力もあったからである。しかし、その一方で、アメリカやイギリスは、しだいに中国民族主義勢力との関係を調整していったので、日本は両国ともしだいに対立を深めるにいたって、ワシントン体制は崩壊したのである。

A 下記の問い1～4について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

- 1 下線部aに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ 中国政府はしぶしぶヴェルサイユ条約に調印したが、これに対して国内では北京の学生デモをきっかけに幅広い層をまきこんだ抗議運動がまきおこった。

ロ アメリカは、途中から参戦し、協商国（連合国）側の勝利に貢献した。

ハ 日本は、参戦の代価としてパリ講和会議で、赤道以北ドイツ領南洋諸島の委任統治権を認められた。

ニ アメリカは、パリ講和会議でも主導権を発揮したが、議会上院がヴェルサイユ条約の批准を拒否したため、国際連盟にも参加しなかった。

- 2 下線部 **b** のねらいを軍事面で実現したのが、五大国間の海軍軍備制限条約であった。これに関する次の記述のうち正しいものはどれか。
- イ アメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリアの軍艦保有トン数比率を、5:5:3:1.67:1.67とした。
 ロ アメリカ、イギリス、フランス、日本、イタリアの主力艦保有トン数比率を、5:5:3:1.67:1.67とした。
 ハ アメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリアの主力艦保有トン数比率を、5:5:3:1.67:1.67とした。
 ニ アメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリアの補助艦保有トン数比率を、5:5:3:1.67:1.67とした。
- 3 下線部 **c** についての次の記述のうち誤っているのはどれか。
- イ 1924年、孫文はソ連の援助を受け入れて国民党を改組した。
 ロ 1921年、コミンテルンは毛沢東を指導者とする中国共産党の結成を支援した。
 ハ 1935年、コミンテルン第七回大会は、反ファシズム勢力を広く結集する方針を採択した。
 ニ 1919年、ソヴィエト政府は、外務人民委員カラハンの名で、旧ロシア政府が中国に有していた帝国主義的特権の放棄を宣言した。
- 4 下線部 **d** に関して進行した出来事①～③を年代順に記した適切な組み合わせは、イ～ニのどれか。
- ① 日本の山東出兵 ② 張作霖爆殺の謀略 ③ 第一次国共合作
 ④ 国民革命軍の北伐開始 ⑤ 満州事変
- イ ①→③→②→④→⑤ ロ ①→②→③→④→⑤ ハ ③→④→①→③→② ニ ③→④→①→②→⑤

B 下記の問い1～2について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 下線部 **e** のうち最も重要だったのが日露戦争で獲得した中国東北地方における利権であった。この利権を運用するために設立された国策会社の名称を漢字で記せ。
- 2 下線部 **f** に関して、アメリカやイギリスが接近したのは、蒋介石が共産党弾圧の上海クーデター後に樹立した国民党の南京国民政府であった。蒋介石の経済的後ろ盾となった上海の銀行資本勢力の名称を漢字で記せ。

III

次の文章を読み、下記A、Bの問いに答えよ。

シチリア島は地中海の中央に位置し、古くからさまざまな勢力がこの地で活動して、現在も日にすることができる多層的な文化を形成してきた。古代から13世紀までの流れを簡単にたどってみよう。

前9世紀にフェニキア人がこの島に交易の拠点を設けはじめたが、前8世紀からギリシア人が植民市を建設するようになり、とくにドーリア人が建設した¹シラクサがもっとも有力なポリスとなった。この都市の僭主に招かれて、詩人のピンダロスや **a** もギリシア本土から訪れている。前4世紀にはシラクサの僭主ディオニソス2世がシチリアのほぼ全土を支配したが、やがて二度のポエニ戦争を経てこの島はローマの支配下に入った。前212年にシラクサが陥落したときには、高名な学者の **b** もローマ軍の兵士に殺されている。ローマの属州となったシチリアは重要な穀倉としての役割を果たしたが、5世紀にはヴァンダル王国が支配するようになった。しかし、 **c** がヴァンダル王国から買い戻し、その後東ゴート王国の領土となった。そして、²東ローマ帝国のユスティニアヌス大帝が東ゴート王国を滅ぼすと、シチリアも東ローマ帝国領となり、7世紀後半には短期間だが皇帝がシラクサに居を定めた。

シチリアに大きな変化をもたらしたのは、9世紀からはじまったイスラーム勢力の進出である。東ローマ帝国の内紛に乗じて820年代末から進出しはじめたイスラーム勢力は、教会をモスクに変えただけでなく、新しい灌漑技術や新しい作物を持ち込んだ。940年代末からシチリアは³チュニジアを支配する王朝によって任命された太守の統治下に入り、この王朝が本拠地をエジプトに移すと、太守は自立性を高めた。しかし、太守の家系が断絶すると、シチリアは分裂状態に陥り、すでにローマ教皇からシチリアを封土として認められていたノルマン人の指導者が南イタリアから入ってシチリアの征服を進め、1130年にはルジューロ2世のもとで両シチリア王国が成立した。少数の征服者であるノルマン人はそれまでの文化を尊重したので、この時期のシチリアではイスラームやビザンツの影響も残った重層的な文化が栄えた。その後、ノルマン朝の断絶にともなってシチリアの王位は1194年にシュタウフェン家のハインリヒ6世によって

継承され、さらにその子の d に受け継がれた。⁴この君主はシチリア育ちの君主にふさわしく多国語を操ったといわれる。しかし、シュタウフェン家の支配も長くは続かず、アンジュー家の短い支配を経て、シチリアはやはり⁵シチリアの外部に起源を持つ王家の支配下に入った。

A 下線部 1～5 に対応する下記の問い 1～5 について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

- 1 この都市の母市であるギリシアの都市はどれか。
イ コリント □ アテネ ハ テーベ ニ ミレトス
- 2 この帝国はビザンツ帝国とも呼ばれ、独自の建築文化を発展させたが、ビザンツ式によって建築された聖堂はどれか。
イ アミアン大聖堂 □ マインツ大聖堂 ハ サン＝ヴィターレ聖堂 ニ ヴォルムス大聖堂
- 3 この王朝はどれか。
イ 後ウマイア朝 □ アイユーブ朝 ハ ファーティマ朝 ニ ウマイア朝
- 4 彼は十字軍に参加して一時はイェルサレムを回復したが、この十字軍はどれか。
イ 第2回以前の十字軍 □ 第3回十字軍 ハ 第4回十字軍 ニ 第5回以降の十字軍
- 5 この王家の本拠地があったのは、現在のどの国か。
イ イギリス □ ドイツ ハ フランス ニ スペイン

B 空欄 a～d に対応する下記の問い 1～4 について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄 a の人物は『アガメムノン』などの作品で知られている。この人物の名前を記せ。
- 2 空欄 b の人物は投石機の製作などをおしてシラクサ防衛戦に貢献したといわれる。この人物の名前を記せ。
- 3 空欄 c の人物は最後の西ローマ皇帝を退位に追い込んで自らの王国をつくった。この人物の名前を記せ。
- 4 空欄 d の人物は後に神聖ローマ皇帝をも兼ねた。皇帝としての名前を記せ。

IV

以下の文章を読み、下記 A、B に答えよ。

三十年戦争とウェストファリア講和条約を経て、ヨーロッパにおける国家形成は一段と進んだ。この講和条約によって、^a神聖ローマ帝国では、帝国諸侯が領内の宗派を決定するというアウクスブルクの宗教和議の原則が確認され、カルヴァン派にもルター派と等しい権利が認められた。さらに帝国諸侯は、内政問題と対外問題について、事実上の最終決定権を獲得した。これによって国家形成の主導権は、皇帝から帝国諸侯のなかの有力な領邦君主の手に渡った。帝国が正式に解消したのは1806年だが、17世紀半ば以降、この地域における実質的な国家形成は、帝国を枠組みとしてでなく、各領邦ごとに行われることが明白になった。三十年戦争が続くなか、他のヨーロッパ諸国内部でも、国家形成をめぐる衝突が起っている。^b16世紀後半の36年間に及ぶ宗教的・政治的内戦を経験したフランスでは、内戦が終息した後、王権の強化が進められた。^cルイ13世の宰相は、新教徒や貴族・王族など王権に服従しない勢力を抑圧した。フランスは三十年戦争に途中から参戦し、ウェストファリア条約で領土を獲得したが、国内ではそれまでの重税や圧政に対する不満が積もっていた。この条約の締結を目前に、そうした不満が反乱となって現れた。この反乱は結局、^dルイ14世の宰相の巧みな術策によって収拾され、その後、王権の絶対化という方向で国家形成が進められた。イギリスでも三十年戦争末期に、宗教問題に絡む内戦が始まった。共同統治を要求する議会と、これを拒む王権が衝突し、^eテューダー朝時代から力をつけてきたジェントリ層からなる議会勢力によって、王権が打倒された。国王が処刑され、共和政が樹立された。その後、^f王政復古と王朝の交替を経て、議会が王権に優越する方向で国家形成が進んでいった。

17世紀半ばまでの国家形成によって、都市を取り巻く環境が変わった。中世ヨーロッパ都市の「自由」や「自治」は時代と地域によって多様だったばかりでなく、これを近代的概念で捉えることもできない。また都市だけが「自由」や「自治」を獲得したわけでもない。しかし、中世ヨーロッパ都市のなかに、領主との契約や王権の特許状などによっ

て、既得の慣習的諸権利を確認されたものがあつたことも事実である。遠隔地商業を営む大都市のなかには、互いに政治的・軍事的な同盟を結び、事実上の独立を達成する場合もあつた。ところが、遅くとも16世紀から17世紀半ばにかけて、多くの都市は他の身分や社団と同様に、王権の統制を強く受けるようになった。王権は都市の自治を制限し、都市を徴税・司法・軍事の拠点とし、都市に代わって遠隔地商業の主導権を握ることもあつた。こうして、多くの都市が王権による集権化の対象となるとともに、都市もその一翼を担うなかで、国家形成が進んでいった。17世紀半ばを過ぎると、国家は経済活動においても重要性を増した。三十年戦争と戦後の再建、ウェストファリア条約以降の相次ぐ戦争のため、各国はますます多額の資金が必要になった。そのために、各国は増税や公債発行を行うほかに、貿易によってできるかぎり多くの黒字を獲得しようとした。各国は自国の商業および遠隔地・植民地向け製造業に対して、さまざまな保護・振興策を施した。各種の特許会社の設立、輸入品に対する高率関税の設定、輸出奨励金の支出や輸出産業の支援、外国人技術者の招聘、自国産業に有利な通商条約の締結などである。

A 下記の問い1～6について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 a に関連する記述として、誤っているのはどれか。

- イ 講和会議が開かれたのは、ウェストファリア地方のオスナブリュックとミュンスターだった。
- ロ スウェーデンが西ポンメルンなどを獲得し、帝国議会における出席権と議決権を認められた。
- ハ フランスがアルザス地方にあるメッス、ヴェルダン、トゥールの3司教領を獲得した。
- ニ オランダとスイスが、両ハプスブルク家から独立することが正式に認められた。

2 下線部 b に関連する記述として、誤っているのはどれか。

- イ 962年にザクセン朝のオットー1世が、ローマにおいて教皇ヨハネス12世から帝冠を授けられた。
- ロ イタリア政策に伴うシュタウフェン朝諸君主の進攻に対抗して、ロンバルディア都市同盟が結成された。
- ハ 皇帝カール4世の治世に、皇帝選出権を7人の諸侯に特定するなど、皇帝選挙の手続きが成文化された。
- ニ 15世紀半ばにハプスブルク家から初めて皇帝が選出され、帝国消滅まで同家が皇帝の座を占めた。

3 下線部 c に関連する記述として、誤っているのはどれか。

- イ 内戦の勃発のきっかけは、旧教徒が新教徒を襲ったサンバルテルミの虐殺事件だった。
- ロ サンバルテルミの虐殺事件を画策したひとり、国王の母カトリヌ＝ド＝メディシスだった。
- ハ スペインがカトリック陣営を、イギリスがプロテスタント陣営を、それぞれ支援した。
- ニ アンリ4世が新国王に即位し、旧教に再改宗し、ナントの勅令を發布した。

4 下線部 f の時期に起こった以下の出来事①～⑤を時代順に並べるとすると、適切なものはどれか。

- ① 人身保護法制定 ② イングランドとスコットランドの合併
- ③ イングランド銀行設立 ④ 審査法制定 ⑤ 権利の章典の制定

- イ ①→④→⑤→②→③ ロ ①→④→③→⑤→② ハ ④→①→③→⑤→② ニ ④→①→⑤→③→②

5 下線部 i の一つであるスペイン継承戦争の講和条約によって、スペインが割譲した領土はどこか。

- イ ジブラルタル ロ セウタ ハ ジャマイカ ニ フロリダ

6 下線部 k に関連して、イギリスが1703年にポルトガルとの間で結んだ通商条約の名称はどれか。

- イ サラゴサ条約 ロ メシュエン条約 ハ イーデン条約 ニ コブデン条約

B 下記の問い1～5について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 下線部 d の人物が1635年に組織した学術研究団体は何か。
- 2 下線部 e の王権が地方統治のために、主として各州のジェントリを任命した裁判と行政の職務は何か。
- 3 下線部 g に当るハンザ同盟のノヴゴロドの商館を1494年に閉鎖させたモスクワ大公はだれか。
- 4 下線部 h の一つで、フランス国王に対する建白権や王令の審査・登録の権限を持っていたのは何か。
- 5 下線部 j の一つであるイギリス東インド会社が、1765年にベンガルなどで獲得した徴税権を何というか。

次の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

ロシアの近代化は、西欧諸国に学びながら、しかし他方で西欧諸国に対抗しながら、進出した。

若くして西欧諸国を視察したピョートル1世は、北方戦争に勝利して、バルト海への勢力拡大を果たした。彼は、スウェーデンやプロイセンなどの制度に学びながら改革を推し進め、工業を発展させた。しかし、この事業は財源を農民からの徴税に求めたため、農奴制と共同体的秩序が強化されることになった。

エカチェリーナ2世は、フランスの啓蒙思想家と交流しながら改革を進めたが、cによる大規模な農民反乱に遭遇した後は、身分制的秩序の強化につとめ、農奴の境遇はさらに悪くなった。宗教、福祉、文化の面でも進歩的政策を講じたが、フランス革命の勃発後に反動化した。対外的には、ポーランド分割や露土戦争を通じて領土を拡大し、ロシア化を推し進め、黒海はロシアの内海と化した。

アレクサンドル1世は、啓蒙思想や西欧諸国の事情に通じていた人たちを側近として、行政、教育等の分野で改革を行った。国際的には、ナポレオンの膨張政策に立ち向かい、そのモスクワ遠征を追い返し、ウィーン会議を契機に神聖同盟を提唱した。ナポレオン軍を追走して西欧諸国の進んだ状況を見聞した青年貴族の将校は立憲君主政あるいは共和政を求めて運動を続け、ツァーリの急死直後に、反乱を起こした。

この反乱を鎮圧したニコライ1世は、専制を革命から守るべく、警察国家体制を確立した。対外的には「ヨーロッパの憲兵」の役割を担い、また、南下政策を推進し、クリミア戦争を引き起こした。こうした状況のなかで、知識人のあいだでは、ロシアの近代化の道をめぐって、西欧派とスラヴ派のあいだで激しい論争が起こった。

アレクサンドル2世は、クリミア戦争の敗北によって自国の後進性を痛感し、農奴解放をはじめ、さまざまな社会改革を推し進めた。しかし、現状に満足しない若者たちのなかには、農奴解放の際に存置された農村共同体を基盤に社会主義社会をつくるという思想に動かされて、農村のなかに入って啓蒙活動を行う者も登場した。ツァーリは、そうした人びとのなかの過激派によって暗殺された。

ニコライ2世は、先帝アレクサンドル3世の工業化政策を継承し、大蔵大臣iの下で、西欧諸国の資本、技術、企業家の力を借りて、急速な経済発展を実現した。しかし、20世紀に入って社会的矛盾が噴出し、日露戦争のさなか、「血の日曜日事件」を機に革命運動が激化した。ツァーリは国会を開設し、憲法を制定し、l首相のもとで、農村の共同体的秩序を解体して西欧的な私的土地所有秩序を導入する改革を実施したが、十分な成果をあげないまま、第一次世界大戦のさなか、革命によって退位し、ロマノフ朝は崩壊した。そして、同じ年の秋に、社会主義革命が起こった。

A 下記の問い1～7について、最も適切な答えをイ～ニから選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ（問い1は二つ、他は一つ選べ）。

1 下線部aの時期の出来事でないのはどれとどれか。

- イ イギリスはアン女王の治下、ハドソン湾地方、アカディア、ニューファンドランドを取得した。
- ロ ホーエンツォレルン家の選帝侯は王の称号を認められ、その後の国の発展の基礎を築いた。
- ハ オスマン朝は、ウィーン包囲に失敗し、ドナウ河畔の地で結ばれた条約で多くの領土を失った。
- ニ 清は雍正帝の治下、バイカル湖の南方の地でロシアと条約を結び、国境を画定し、交易条件を決めた。

2 下線部bにある思想家の一人で、『百科全書』の編集に従事し、晩年にはロシアに滞在し、女帝に政策提言を行ったのはだれか。

- イ ヴォルテール ロ ディドロ ハ モンテスキュー ニ ダランベール

3 下線部cの説明として、正しくないのはどれか。

- イ キリスト教を王政的秩序の基礎におき、革命の再発を防ごうとした精神的盟約である。
- ロ イギリス、オスマン帝国、ローマ教皇を除き、ヨーロッパのほとんどの君主が加わった。
- ハ ウィーン体制を維持しようとするメッテルニヒに利用された。
- ニ この同盟の執行機関の役割を担ったのが、ロシア、オーストリア、オランダ、プロイセンによる四国同盟であり、これには後にフランスも参加した。

- 4 下線部 f に共感し、専制と農奴制を批判する作品を書いて流刑の処分を受けた詩人は、近代文章語を確立し、新しい国民文学を創造したといわれる。この詩人はだれか。
- イ プーシキン ロ ツルゲーネフ ハ ゴーゴリ ニ トルストイ
- 5 下線部 g の思想の先駆者ゲルツェンが亡命先のロンドンで交流した革命思想家の一人で、「青年イタリア」を結成して自国の統一のために闘ったのはだれか。
- イ カルロ＝アルベルト ロ カヴール ハ マッツイーニ ニ ガリバルディ
- 6 下線部 h は、国内の少数民族やポーランド、バルト地域、中央アジアに対して、言語をはじめとするロシア化を強制したが、当時の中央アジアにおけるロシアの保護国はかつてどの民族によって建国されたか。
- イ キルギス人 ロ タタール人 ハ ウズベク人 ニ ウイグル人
- 7 下線部 k に関連する説明として、正しくないのはどれか。
- イ この戦争では、日本をイギリス、アメリカが、ロシアをフランス、ドイツが支援した。
- ロ マッキンリー大統領の調停による講和条約において、日本は韓国の保護権を獲得した。
- ハ ロシアが敷設した東清鉄道のうち、長春から旅順にいたる支線の利権が、戦争後、日本に移管された。
- ニ 戦争後には、極東の現状維持で日露の利害が一致し、相互の権益を確認する協約が結ばれた。

B 下記の問い 1 ～ 5 について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄 e に当てはまる人物はだれか。
- 2 下線部 d にある黒海は、その後、ある戦争の講和条約でその中立化が認められた。この条約はどこで締結されたか。
- 3 空欄 i に当てはまる人物はだれか。
- 4 下線部 j に関連して、1890年代前半にロシアが同盟を結んだ国からは多額の資本が流入した。この国はどこか。
- 5 空欄 l に当てはまる人物はだれか。

VI

以下の文章①と②を読み、下図にも関連している、下記 A、B の問いに答えよ。

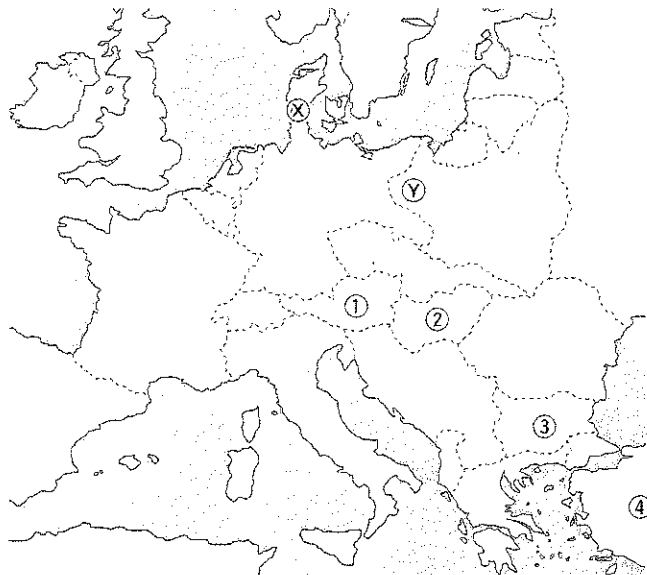
① 以下の a と b はある条約からの抜粋である。

- a 連合国ならびに関係国は、諸条約の国際的道義ならびに神聖な義務に極度に違反したかどで、前ドイツ皇帝 α を公式に訴追する (227条)。
- b 連合国ならびに関係国政府は、以下のことを確認するとともに、ドイツはこれに同意する。連合国および関係国政府ならびにその国民がドイツおよびその同盟国の侵略により強要された戦争の結果として被ったあらゆる損失ならびに被害はドイツならびにその同盟国の責任であること (231条)。

② 以下の a と b はある宣言からの抜粋である。

- a 合衆国大統領、中華民国政府主席およびグレート＝ブリテン国総理大臣はわれわれの数億の国民を代表して協議し、日本国に対して今次の戦争を終結する機会を与えることに意見が一致した。
- b β 宣言の条項は履行され、また、日本国の主権は本州、北海道、九州および四国ならびにわれわれが決定する諸小島に局限されるものとする。

図 1919年当時のヨーロッパ地図



出典 Map Europe 1919 <http://www.slideshare.net/ljhsblog/map-europe-1919> に加筆

A 問い1～7について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 文章①の条約と並行して、連合国とヌイイ条約を結んだのは図のどの記号の国か。

イ ① □ ② ハ ③ ニ ④

2 図の②国がオーストリアから完全に分離して連合国と結んだ条約はどれか。

イ サン＝ジェルマン条約 □ トリアノン条約
ハ セーヴル条約 ニ ブレスト＝リトフスク条約

3 文章①に関連する以下の記述の中で誤っているのはどれか。

- イ アラブ指導者フセインはイギリスとの間に大戦後の独立を認める協定を結んで、オスマン帝国と戦い、ヒジャーズ＝ネジド王国を建設したが、イブン＝サウードに滅ぼされた。
- 文章①の条約の結果として、デンマークに割譲された図のⓧ地域は同国が19世紀にプロイセンおよびオーストリアとの戦争で失った地域の一部である。
- ハ 日本はドイツに宣戦布告し、山東半島に上陸し、膠州湾租借地を占拠した。これにより山東省の権益は日本に引き継がれ、パリ講和会議でも承認された。
- ニ セルビア王国を中心として、オーストリア＝ハンガリーの一部を加えて建国された王国は、1929年にはユーゴスラヴィア王国と改称された。

4 文章①にも関連する以下の出来事①～⑤を年代順に並べるとすれば、適切なのはどれか。

- ① ウィルソンの提案に基づいて結成された国際連盟が発足した。
- ② オーストリアの皇位継承者がボスニアの州都で暗殺された。
- ③ ドイツはかねてから構想されていた作戦にほぼ則り、中立国ベルギーへ侵入した。
- ④ 中国における日本の特殊権益を認める協定が石井菊次郎とランシングとの間で結ばれた。
- ⑤ フセインはイギリスのマクマホンと戦争協力の協定を結んだ。

イ ①→②→⑤→④→③ □ ②→④→③→①→⑤ ハ ②→③→⑤→④→① ニ ②→③→④→⑤→①

5 文章②の空欄βに当てはまるのはどれか。

イ ヤルタ □ テヘラン ハ ミュンヘン ニ カイロ

6 文章③の宣言を作成した会談に参加しなかった首脳はどれか。

イ チャーチル □ ローズヴェルト ハ トルーマン ニ スターリン

7 文章⑧に関連する出来事①～⑤を年代順に並べるとすれば、適切なのはどれか。

- ① リットン調査団報告に基づく勧告案の総会における採択に対して日本は国際連盟を脱退した。
- ② 満州とモンゴルとの国境をめぐるノモンハン事件が起こり、ソ連と日本が交戦した。
- ③ スターリンはテヘランでアメリカ、イギリスに対して対日参戦することを約束した。
- ④ 抗日を主張する共産軍に共鳴して、西安で張学良らが蒋介石を監禁した。
- ⑤ 関東軍が奉天郊外で鉄道を爆破し、張学良一派によるものとした。

イ ⑤→①→②→④→③ ロ ⑤→①→④→②→③ ハ ④→⑤→②→①→③ ニ ④→⑤→②→③→①

B 下記の問い1～5について最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 文章①の空欄aに当てはまる、前ドイツ皇帝とはだれか。
- 2 文章①の条約の結果として割譲された図の⑦地域は内陸国にとってバルト海への出口となるもので、通常、何と呼ばれているか。
- 3 イギリスの中東専門家とフランスの外交官により原案が作成され、ロシアも加わった、オスマン帝国後の当該国による勢力範囲に関する秘密協定は、Aの問い4の⑥にある協定に矛盾するものであった。この秘密協定とは何か。
- 4 文章⑥の宣言を日本が受諾したときのイギリスの首相はだれか。
- 5 文章⑥の宣言が作成された会談の結果、ドイツとポーランドの暫定的国境とされた川は何と何か。

〔以下 余 白〕